

合格体験記

氏 名:

担任講師: 西川、野本

先生

在籍校舎: 板橋

校

進学先

慶應義塾大学・法学部

その他
合格校

慶應・文 早稲田・文構

明治・政経 青山・国際政経 立教・法

*入試に役立った先生のアドバイス・勉強方法や、合格につながった体験・エピソード等を書いてください。

私が受験勉強において重要視したことは、自分のペースを崩さずに学習を進めるというただ一点です。一般的に、受験生は規則正しい生活の中でより多くの時間を勉強に費し、より早い時期から発展的な内容に取り組めるように計画性の高い学習スケジュールを立てることが良い、というような文言を様々な場で聞いてきました。また、自分が特に集中できる勉強の環境を見つけることや、友人と共に切磋琢磨することなどが成功の秘訣という意見もしばしば聞かれます。

こうした観点から見ると、私の勉強生活は失敗する人間の典型例と言えるでしょう。基本的に遅寝遅起きの生活、多くの方が目標とする一日十時間など夢のまた夢、勉強場所は塾や家の机中から気分次第で選び、学校の自習室をまったく利用しなかったために基本一人で勉強する。学習の進め方に関しては、スケジュールを立てたことなど一度もない上に、最後まで基本事項に不安を抱えたままだったためにいつまでも単語帳や文法書とにらめっこ。過去問演習も本格的に始めたのはセンターが終わってからです。

断っておきますが、私の地頭が特別優れていたからこの程度の取り組みで済んだ、という訳ではありません。第一志望校の模試での判定は最後までかなりEも行ったり来たりでしたし、そもそも、私大最難関校である早慶の名は伊達ではありません。皆さんも過去問を解いていただければ分かると思います。私の受験成功の要因は結局のところ、セオリー無視の勉強法が様々な点で自分に合っていたという点に尽きるのです。

長く なっ て し ま い ま し た が こ こ か ぶ が 本 題
 です。 皆 さ ん に は ぜ ひ、 自 己 分 析 を 通 し た 無
 理 の な い 学 習 ス ケ ジ ュ ー ん を 早 期 に 確 立 し て
 い た だ き た い。 も る る ん、 前 述 し た セ オ リ ー
 通 り の 生 活 を 実 践 で き る な ん そ れ に 越 し た こ
 と は あ り ま せ ん。 し か し、 多 く の 方 が 私 と 同
 じ よ う に 断 念 し て し ま う の で は な い で し ょ う
 か。 十 時 間 勉 強 の 三 日 坊 主 よ り、 そ の 半 分 の
 時 間 び も 一 年 間 続 け る 方 が 遥 か に 有 用 で す。
 周 り の 意 見 に 縛 ら れ ず、 自 分 な り の 努 力 の は
 方 を 模 索 す る、 と い う 皆 さ ん の 決 断 の 支 え と
 して、 私 の 体 験 が 役 立 て ば 幸 い で す。
 また、 こ の よ う な 柔 軟 な 学 習 方 法 を 実 践 す
 る よ び、 稲 門 学 舎 は あ な た の 力 に な っ て く れ
 る で し ょ う。 学 習 ペ ー ス の 速 さ、 苦 手 文 野 の
 追 加 演 習 な ど、 自 分 に 必 要 だ と 思 う こ と は じ
 ん ど ん 講 師 の 方 に 言 っ て み て 下 さ い。 時 間 が
 空 い た 日 に は ぜ ひ、 自 習 し に 来 て み て 下 さ い。
 わ ざ わ ざ 来 る の が 面 倒 だ い ん ば、 授 業 前 後 の
 ち ょ っ と し た 復 習 か ら 始 め る の で も 良 い と 思
 い ま す。 面 倒 な 手 続 き 等 は 何 も あ り ま せ ん。
 こ の 塾 で の 学 習 は、 あ な た 自 身 の 手 で あ な た
 自 己 に カ ス タ マ イ ズ で き ま す。 自 分 に 何 が 必
 要 な の か 分 か ら な く て も、 講 師 の 方 が 相 談 に
 乗 っ て く れ ま す。 こ の 塾 の 魅 力 の 一 端 を、 私

は この 点 に 見 出 だ し ま し た。